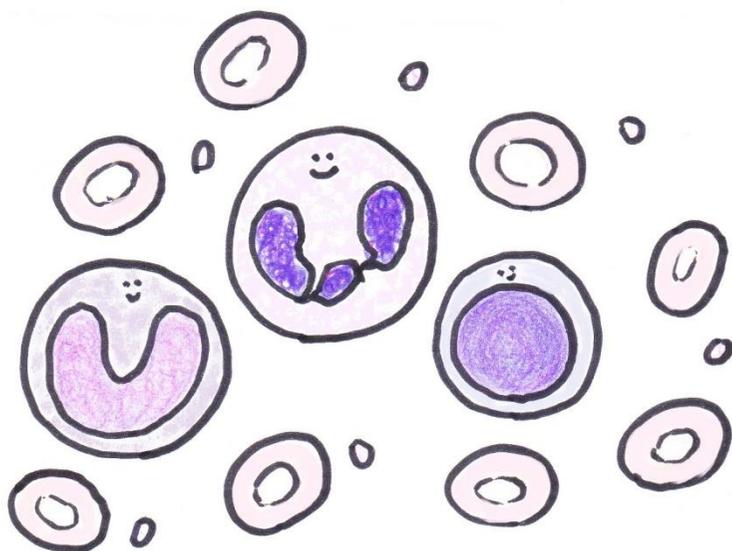


検査説明パンフレット

# 末梢血一般検査



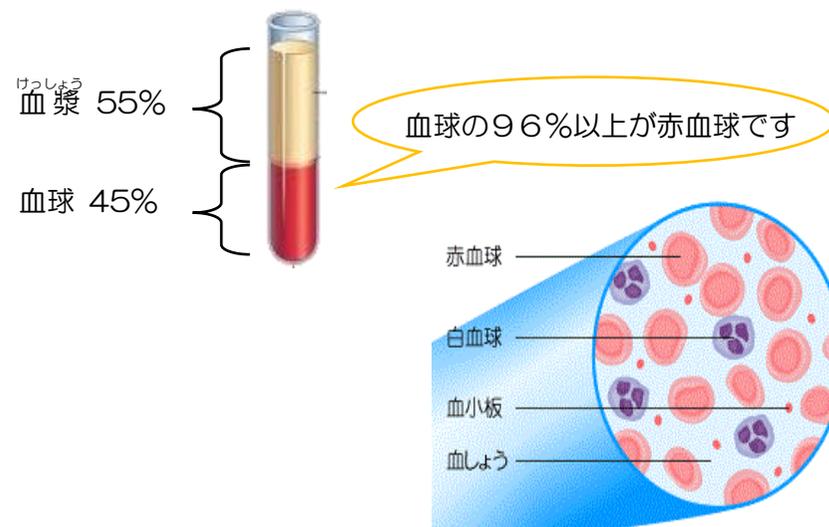
## 血液とは

わたしたちのからだを流れている『血液』は、心・血管系の中を循環する液体であり、生命の維持に極めて重要です。

通常の成人において、血液量は体重の約8%を占めており、その量は体重60kgの成人では4~5Lとなります。

また、全血液量の1/3を失うと生命に危機を及ぼします。

『血液』は、血液全体のおよそ45%が赤血球、白血球、血小板の細胞成分（血球ともいう）で、残りの55%が液体成分である血漿（けっしょう）から成り立っています。



## 末梢血一般検査

細胞成分である赤血球、白血球、血小板の数、およびヘモグロビン濃度、ヘマトクリット値などを分析装置で測定することを“血球算定（CBC；complete blood count）”と呼びます。



## RBC (赤血球)

### ★体の隅々へ酸素を運ぶ役割

赤血球数を調べることにより、酸素運搬能力の異常や、体内出血の原因などを探る。  
高値では多血症、低値では貧血や造血機能の低下を疑う。

## WBC (白血球)

### ★体の中に侵入した異物や病原菌を食べて体を守る役割

白血球の数は炎症や、感染症、血液の病気などによって増減する。  
高値では体内での炎症や白血病、低値では造血機能の低下を疑う。

## PLT (血小板)

### ★血液の凝固を助け、出血を止める役割

血小板数を調べることにより、血小板の能力や出血傾向がある場合の原因が分かる。  
異常値では、造血機能の障害などを疑う。

### Hb (ヘモグロビン)・・・貧血の指標

赤血球の主要成分で、赤血球の酸素運搬の中心的役割。  
色素とも呼ばれ、血液が赤いのはヘモグロビンによるもの。

### Ht (ヘマトクリット)・・・貧血や脱水の指標

血液に含まれる赤血球の割合を示したもの。

### MCV・MCH・MCHC・・・貧血の種類や、性質を知る手がかり

赤血球数、ヘモグロビン濃度、ヘマトクリット値をもとにしてそれぞれ算出する。

## 基準範囲

項目	単位	基準範囲
WBC (白血球数)	$\times 10^3 / \mu\text{L}$	4.0~9.0
RBC (赤血球数)	$\times 10^6 / \mu\text{L}$	男性：4.10~5.20
		女性：3.80~4.80
Hb (血色素量)	g/dL	男性：13.0~18.0
		女性：12.0~16.0
Ht (ヘマトクリット値)	%	男性：40~48
		女性：34~42
MCV (平均赤血球容積)	fL	85~100
MCH (平均赤血球血色素量)	Pg	28~33
MCHC (平均赤血球 Hb 濃度)	g/dL	31~35
Plt (血小板数)	$\times 10^3 / \mu\text{L}$	130.0~400.0

※基準範囲は当院で設定しているものであるため、他施設とは異なる場合があります。

女性は生理や妊娠によって貧血になりやすいため、RBC や Hb、Ht の基準範囲は、男性に比べて低くなっています。

